

令和6年6月11日
(独)家畜改良センター
熊本牧場

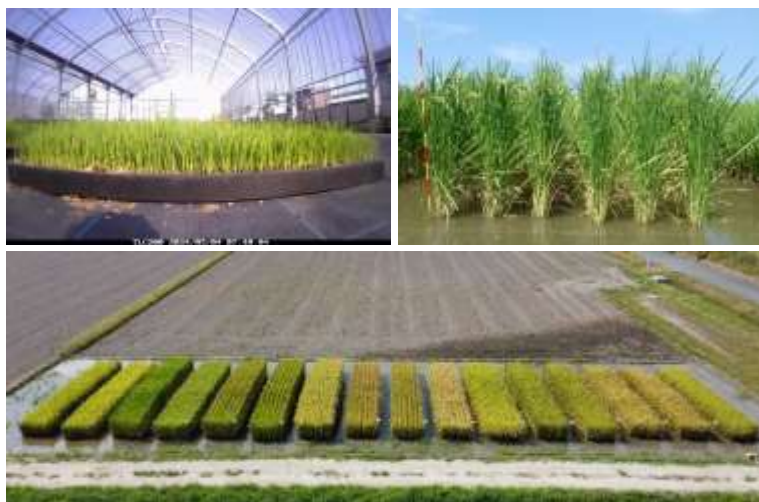
飼料用イネの展示ほ場を設置しました

(独)家畜改良センター熊本牧場(場長:奥地 弘明^{おくち ひろあき})では、国産飼料として生産・利用が拡大傾向にある飼料用イネ(飼料用米・WCS用稲)の展示ほ場を設置しています。

5月30日に展示ほ場の田植えを行いました。この展示ほ場では高糖分・極短穂タイプの品種「つきはやか」、「つきあやか」等の稲発酵粗飼料(WCS)向け品種や、飼料用米向け品種等、早晩性の異なる19品種(食用品種「ヒノヒカリ」を含む)を並べて栽培し、それぞれの品種特性を実物で比較できるよう展示しています。

展示ほ場の様子については、熊本牧場のホームページ内
(<https://www.nlbc.go.jp/kumamoto/seed/siryoinetenzio/index.html>)でも定期的に更新していきますのでご覧ください。

現地説明等の対応は随時受け付けておりますので、希望される方は以下の問い合わせ先までご連絡をお願いします。



【展示ほ場主な品種】

- ・WCS 向け
「つきはやか」、「つきあやか」
「つきことか」、「ミナミユタカ」
- ・飼料用米向け
「みなちから」、「ミズホチカラ」
- ・兼用種
「夢あおば」、「北陸193号」

など

(写真は令和5年度の様子)

お問い合わせ先

家畜改良センター熊本牧場 担当者:種苗課 野方・森
電話:0968-84-3660 FAX:0968-84-3708
URL: <https://www.nlbc.go.jp/kumamoto/index.html>

「日本の食卓改良と技術で守ります。」 ～小さなタネから大きな牛まで～